

カトリック大磯教会だより

2025 年 9月号

2025/8/31 発行

〒255-0002 神奈川県中郡大磯町東町 2-7-1
カトリック大磯教会(宣教部広報)
Tel 0463-61-0303/Fax 0463-61-9889
URL <http://www.scn-net.ne.jp/cathoiso/>



さまざまな祈りのかたち — イコンを通して —

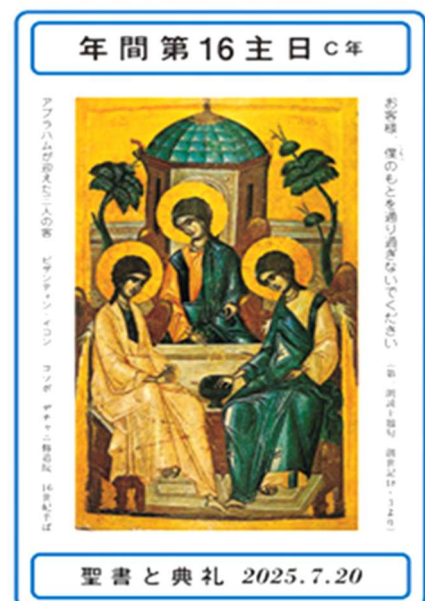
浅石 奈津子

私と「イコン」との出会いは友人の勧めでした。彼女は20代の頃、宣教師との出会いをきっかけにイコンを知り、その後宣教師の勧めで過ごした滞在先がイタリアの現代イコン作家リーナ・デルベロー師宅でした。そこでイコンを学び、霊的指導を受け帰国後はシスターと研鑽を積んだようです。以来、ご自分のライフワークとして今につながっています。彼女に声をかけられてから数年は迷い、不安な思いのまま筆を執り始めて3年あまり、今はその導きが尊いものに思えてきました。

そもそも「イコン」と聞いても、耳慣れない言葉に何？と思われる方が多いのではないのでしょうか。身近に目にするところでは、毎週の御ミサで手にしている「聖書と典礼」の表紙に時々登場する絵画です。

「イコン」という言葉はギリシャ語の「eikon」から派生し、「イメージ」という意味ですが、のちに卵の黄身を溶剤とし、天然の顔料を使って、木の板に「書かれた」聖書をテーマとするテンペラ画を「イコン」と呼ぶようになったとされています。言葉ではなく、色彩で書かれた聖書のようなものですので、主に東方正教会ではイコンを描くとは言わずに「書く」といい、イコンを観るとは言わずに「読む」といいます。キリスト像・聖母像・聖人像、また聖書の一場面を表すこともあります。

何の素養もない私が取り組んでいるのは、伝統のイコンの聖画を、麻布と石膏で下地を施した板に、卵黄を溶剤とした顔料を使い模写していくというものです。全てのイコンは神の姿を神学的にイメージしたもので、それはみ言葉を写す作業ともいえます。





「ウスペンスキー大聖堂」内部

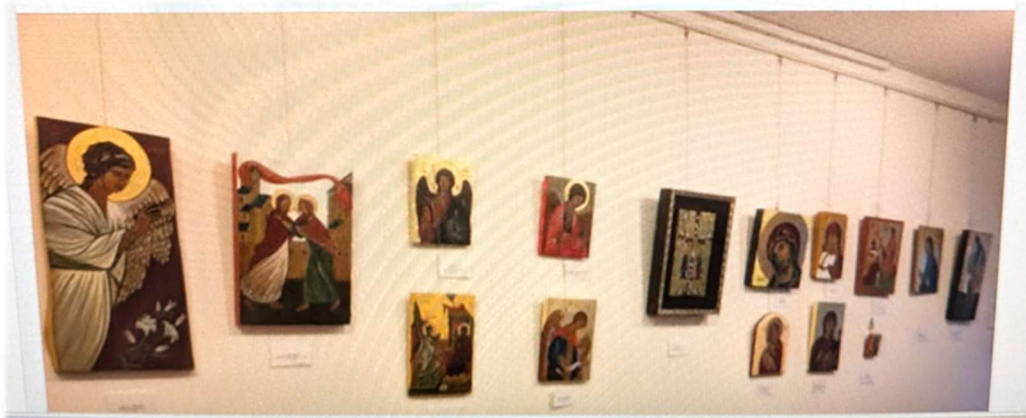
以前フィンランドを旅した時ヘルシンキのウスペンスキー大聖堂の正面には、壁一面に様々なイコンが敷き詰められていました。その前にひざまずき一心に手を合わせ祈る姿には、圧倒された記憶があります。イコンの目的は、まさにイコンに現わされているお方と眺める方を結ぶこと、とされ、不可視の神に向かって開かれた窓のように、その眼差しが窓で止まるのではなく、それを通して神を仰ぎ見るとされています。

イコンを書くことは、静寂のなかで、板絵を前にまさに“祈りの時”の中にあると感じています。静かに流れる“時“には、癒しも慰めもいただいているのでしょう。ここでは、イコンの聖画を忠実に再現する(模写する)ことが重視されるのですが、面白いことに同じ題材を同じ様に模写して書いた作品の中にも個性があり、上手いも下手もなく、それはその人なりの祈りにも重なります。

人にはそれぞれ様々なかたちの”祈り“があります。御ミサでの祈りをはじめ、歌う中で、描く中であるいはレクチオ・ディビナ(霊的読書)の中で、そして日々のささやかな暮らしの中にも日常的にどこにでも”祈り“の場は用意されています。

今、手掛けて2年がかりの聖母子像のイコンが手元にあります。少しだけ完成に向かい目途が立ったところですが、たとえばひとつの作品が未完のままとしても、それでも良いかと思えてきました。大切なのはそこに向き合い費やした時の中で、捧げた思いですから・・・完成に縛られないことで、ゆるりとした気持ちがもたらされます。

先に紹介した友人の師リーナ・デルベローさんが2023年に帰天され、回顧展が10月に開催されます。ご興味のある方がいらしたら、そっと覗いてみませんか・・・。



2025 年 第6地区サマーキャンプ報告

鈴木 郁子

8月2日(土)・3日(日)の1泊2日で第6地区のサマーキャンプが大磯教会で行われました。昨年までは平塚・小田原・大磯の3教会で行っていましたが、今年は初めての第6地区としてサマーキャンプとなりました。3教会のほかに茅ヶ崎・二宮・真鶴・秦野教会が参加され、子ども、青年部、スタッフ、お手伝い合わせて総勢約80名と大勢の方によって賑やかに過ごしました。関係者は今回初めての顔合わせとなり、青年部の協力も得ながら何度も事前の打合せを行い準備を進めました。



初日は韓神父様のたくさん友達を作りイエス様を探そう!開会の挨拶からひとつになっていきました。李神父様も加わり午前中は町営プールに、午後は「神さまってどんな人?どうしたら友達になれる?」をテーマにグループに分かれて分かち合いを行いました。様々な年齢層で輪になり自分の思いを語り、葡萄の幹に貼っていきました。その後、今年も赤井さんに「アーメンハレルヤ」と「主の祈り」の手話を教えていただきました。子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。

合間にある自由時間は、庭で神父様とフリスビーやサッカーで汗だくになって走っている子、エアコンの部屋で今年も再会した仲良しのお友達とお喋りしたり、ピアノを弾いたり、初めての仲間と楽しそうでした。夜の花火の後は静かな聖堂で夕の祈りをして一日の出来事に感謝をしました。

翌朝は早起きをして照ガ崎にアオバトを見に行きました。初めて見る人が殆どだったため、群れをなして岩場に海水を飲むアオバトを見たことが、キャンプで一番楽しかったという子もいました。

昼食は韓神父様が本場のトッポギとビビンバを作って下さいました。2時から二宮・国府津教会の稲葉神父様も来られ、3人の共同司式による聖堂いっぱいのみさとなりました。平和の挨拶からは、祭壇を囲むように大きな輪を作り1人ずつ回りながら、それぞれが友達を通して神さまと出会えたことを喜び合いました。



2日間のサマーキャンプを通して、☆イエス様はいつもそばにいてくださる ☆イエス様を共に賛美することで身も心も養われる ☆一人じゃないんだ、仲間がいる ☆誰に感謝する?イエスキリストですね ☆お金で買えないもの何?命・平和・絆・友達・時間・愛・・・たくさんの気づきが子どもだけでなく参加した皆が宝物として持ち帰ることができました。

麦茶のコップをひたすら洗ってくださった方、おいしいカレーライスを作って下さった方、テントを張って庭で過ごせるようにして下さった方々、その他色々な所でご協力いただき、猛暑の中体調を崩すことなく子どもたちは元気に2日間を過ごすことができたことに感謝します。ありがとうございました。

2025 年8月度 教会委員会議事録要約

1. 日時場所 2025 年 8 月 9 日(土)10:00～11:30 信徒館
2. 出席者 テハン神父・浅石・岩城。野口・増澤・松澤(俊)(ま)・本田・平田(進行)鈴木(書記)
3. 内容
 - (1) 典礼関係
 - ・8 月 16 日(土)10 時～17 日(日)16 時、上智大学学生の黙想会(参加予定5～6人、指導司祭:菅原裕二神父(イエズス会、上智大学神学部教授)。ミサ後の月例会は聖堂で。
 - ・9 月 14 日(日)『恵みの会』ミサ中に病者の塗油 前 3 列席の間隔を広げる。9 月の月例会は委員会翌日の 7 日に行う(恵みの会開催の為)。
 - ・9 月 7 日、第 6 地区典礼部会でローテーション策定。12 月 7 日(日)共同回心式。
 - ・11 月 24 日(月)平塚教会で環境問題セミナー(ラウダート・シについて)詳細後日。講師:シスターキャサリン及びイエズス会司祭。今年の黙想会は本セミナー参加、環境についての分かち合いに替える。
 - (2) 宣教関係
 - ・HP 関係:サマーキャンプの写真を掲載(活動の記録に様子全体の写真/信徒のページに子どもたちの顔出し写真掲載)。
 - (3) 福祉関係
 - ・恵みの会 約 60 枚に案内状と神父様自筆のカードを用意。地区担当者が該当者に配布する。ミサ後簡単なお茶会を設定 内容は検討中。
 - (4) 財務関係
 - ・収入:月定献金は微増。臨時の個人献金等あった。支出:宿泊保険(サマーキャンプ 14 名)祭壇等白布カバークリーニング代。会計監査を高橋伸幸さんをお願いし了承を得た。
 - ・各部門の予算案、8 月末までに提出、9 月に検討会を行う。
 - (5) 管理関係
 - ・信徒館。聖堂の外壁塗装他、修繕費用の見積の現地調査は終了した 8 月 18 日に見積を入手して検討。前回から9年経過し劣化が激しい。
 - ・信徒による西側浅井邸雑木処理済み。東側金子邸側数本剪定と磯高側の残木処理予定。
 - ・門の掲示板の掲示物や周辺の枝など、気が付いた人が積極的に行動するように。
 - ・墓地関係、11 月 8 日の墓地ミサへの送迎バスの参加者募集締め切りは8月末。墓地ミサの後、お茶会実施。椅子などの手配。
 - ・故 長岡博司さんの弟、長岡英男さんは当教会からカトリック岩国教会に転籍した。
 - (6) その他
 - ・10 月 19 日(日)バザー開催予定。実行委員長は長谷部さん(浅石さん)その他窓口数名。共通の目的を持って、色々な形で皆が参加できるバザーを。
 - ・しばらく控えていた聖堂入口の「聖水」を準備する。
 - ・一粒会大会の全体説明会 9 月 7 日(日)14 時二宮教会。
 - ・第 6 地区サマーキャンプはスタッフお手伝い含め総勢 80 名の参加。約 40 名弱の幼児から青年が参加。参加者がひとつになり、テーマ「神さまと友達になろう」に向かうことができた。
4. 神父さまより
 - ・サマーキャンプを通して 6 地区の若者を育てるためのおおきな手段となった。一粒会大会に繋げていってほしい。
 - 次回(第 6 回)開催は 9 月 6 日(土)10:00～11:30。月例会は、翌 7 日(日)に開催。

以上

2025 年8月度 月例会報告

1. 日時場所 2025 年 8 月 17 日(日) ミサ後 12:10～ 聖堂
2. 出席者(敬称略) 22 名 岩城 高橋夫妻 斎藤夫妻 神谷(智) 田原(三) 増澤 浅石 達崎 野口
藤林 本田 清野 和田 平田 岩崎 永富 岡澤 鈴木 長谷部 渡辺
3. 進行／書記 岩城／渡辺
4. 委員会報告 (詳細は委員会報告議事録参照) 以下は補足等
 - (1) 典礼関係 委員会議事録参照 以下補足
・9月14日(日)「恵みの会」ミサ中に病者の塗油を行い、その後、ティーパーティを行います。
 - (2) 宣教関係 委員会議事録参照 以下補足
・HPのサマーキャンプの写真等、是非ご覧下さい。
 - (3) 福祉関係 委員会議事録参照 以下補足
・「恵みの会」のアトラクションとしてハンドベル演奏を行いたく、現在猛練習中です。
 - (4) 財務関係 委員会議事録参照 以下補足
・来年度は信徒館・聖堂の外装工事他、色々な修繕が予想されますが、外壁塗装については具体的に検討を始めました。
 - (5) 管理関係 委員会議事録参照 以下補足
・初めて墓地ミサ(11/13)を遠足風に行く予定なので、まず参加人数を知りたく8月末で募集していますが、記載が遅れています。再度、PRが必要です。
5. その他
 - ・8月31日(日) 2時～大磯教会 第6地区第1回運営会が開かれます。
 - ・10月19日(日) バザー開催予定。実行委員長 長谷部さん(浅石さん)。キッチンの冷蔵庫購入代金を捻出したい。
 - ・委員会規約改定について:今までの話し合いでも色々広がったので、3月の月例会で指名された検討委員会のコアメンバー、渡辺、碓井、長谷部さん中心にもう一度立ち戻り、少しメンバーを増やして立ち上げ、早々にスタートして行こうということになっています。

2025 年9月及び10月第1週 主日のミサ 奉仕者予定

日	主日 司式	聖書 朗読箇所	聖歌				奉仕者				侍者	ミサ準備	お花当番
			入祭	答唱	奉納	派遣	オルガン	先唱	朗読 *朗唱	奉納			
7日	宮内神父 年間第23主日	I 知恵 9・13-18							田原	瀧谷			
		II フイレモン 9b-10、12-17	典 10	典 52	典 39	望の巡礼	鈴木 郁	本田	浅石	浦山	市原	達崎	野口
		福 ルカ 14・25-33		②③④					*長谷部	阿部			
14日	テハン神父 十字架称賛	I 民数記 21・4b-9							渡辺 晃	松澤 俊			
		II フィリピ 2・6-11	典 17	典 59	典 93	望の巡礼	碓井 玲	高橋 伸	中村	林	松田 富	野口	清水
		福 ヨハネ 3・13-17		①ab⑤ab					*楠元	赤井			
21日	集会祭儀 年間第25主日	I アモス 8・4-7	下記別途記載									阿部 公	浦山
		II 一テモテ 2・1-8											
		福 ルカ 16・1-13											
28日	テハン神父 年間第26主日	I アモス 6・1a、4-7							松澤 俊	高橋	阿部 公		
		II 一テモテ 6・11-16	典 42	典 19	典 99	望の巡礼	梶山 真	渡辺 晃	下川	清水		藤林	高橋
		福 ルカ 16・19-31		③④					*龍造寺	赤井			
5日	韓神父 年間第27主日	I ハバクク 1・2-3; 2・2-4							達崎	金子			
		II ニテモテ 1・6-8、13-14	典 14	典 35	典 10	望の巡礼	鈴木 郁	岩城	野口	赤堀	市原	浅石	龍造寺
		福 ルカ 17・5-10		①③④					*長谷部	瀧谷			

※ 9/14はミサの中で病者の塗油が行われます。

カトリック大磯教会だより 9月号

9月21日 集会 祭 儀 ①グループ(平塚・秦野)

奉仕者						聖歌	
司式	: 勝部(武)	勧めのことば	: 浦山			入祭の歌	: 典 137
司会	: 浅石(奈)	オルガン	: 鈴木(郁)			主をたたえ感謝する祈り	: 主をたたえ歌え P13
聖体奉仕	: 岩城	朗読	I 勝部(裕) II 達崎(伸)	福音	清水	派遣の歌	: 希望の巡礼者

○ 2025年9月の掃除当番

第1週(～6日)	第2週(～13日)	第3週(～20日)	第4週(～27日)
石・国・二	平塚・秦野 A	平塚・秦野 B	東・高・大 A

お知らせ

1. 行事予定

- ・9月7日(日) 14:00～ 於:二宮教会 一粒会ボランティアスタッフ説明会
- ・9月14日(日) ミサにおいて病者の塗油、ミサ後恵みの会
- ・10月13日(祝月) 一粒会大会 於:函嶺白百合学園
- ・10月19日(日) 大磯教会バザー

2. 聖歌隊の予定

- ・合同練習 日曜日 14時～ 9/28、10/26、11/23 カトリック大磯教会
- ・ソプラノ・アルト 土曜日 14時～ 9/20、10/11、11/15 大磯キリスト教会
- ・テナー・ベース 土曜日 14時～ 9/13、10/18、11/8 日本基督教団大磯教会
- ・ハンドベル練習 土曜日 13時～ 10/11、11/15 大磯キリスト教会
- ・12月14日(日) 14時 全体練習 16時 公開リハーサル カトリック大磯教会
- ・12月21日(日) 14時～大磯クリスマスキャロリング本番 ステパノ学園

3. 転出者 ヨゼフ 長岡英男さん 岩国教会(広島教区) 8月8日(金)付

4. 帰天者 テレジア 解良公子さん 8月4日(月)

5. その他

- ・スズメバチ巢の駆除の報告。信徒館外南側の集会室と応接室の接するくぼみの軒下に、スズメバチの巣を発見したので、早速8月18日(月)の夜、専門業者による駆除を行いました(費用: 23,100円)。
- ・今後季節が進むと新たな巣の発生は無いとは思われますが、また来年夏には発生する可能性があります。教会敷地内にはスズメバチの他、アシナガバチも確認されており、刺傷された際の危険性は甚大ですので、屋外作業等に際してはくれぐれもお気を付けください

編集後記

8月1ヶ月を振り返ると、サマーキャンプが私にとって最も喜ばしく印象的なイベントです。それは私個人というよりも、参加した子供たちの輝く瞳を見て、この子たちの一生、夏の日の輝く思い出が残るんだろうと確信したからです。私たちは子供たちに素晴らしい宝物をプレゼントできたと確信します。何故なら、私自身幼少時の、海の、山の、仲間と一緒に煮炊きしたキャンプのキラキラ輝く夏の日の思い出が、何十年の歳月を経て今の自分にエネルギーを与えてくれるからです。そのことにとても感謝しています。